

新史料による

「天草・島原の乱」

その時、徳川幕府軍はどう考えたか



をいけとり
に
四郎

平成21年
2月20日(金)~3月22日(日)
城南町歴史民俗資料館

下益城郡城南町大字塚原1924
Tel: 0964-28-5962 Fax: 0964-28-0154

特別講演 3月8日(日) 午後1時30分~午後3時
「天草・島原の乱と細川家と軍師雲林院弥四郎」
講師 花岡 興史
(九州文化財研究所学芸員・国立八代工業高等専門学校講師)

観覧料/大人・高校生 210円(160円) 小・中学生 110円(70円)
※()内は20人以上の団体料金

開館時間/午前9時~午後4時30分(入館は午後4時まで)
休館日/月曜日・祝日の翌日

主催/城南町教育委員会
九州文化財研究所
協力/永青文庫・天草切支丹館・
南島原市・伝習館高校同窓会・
柳川古文書館

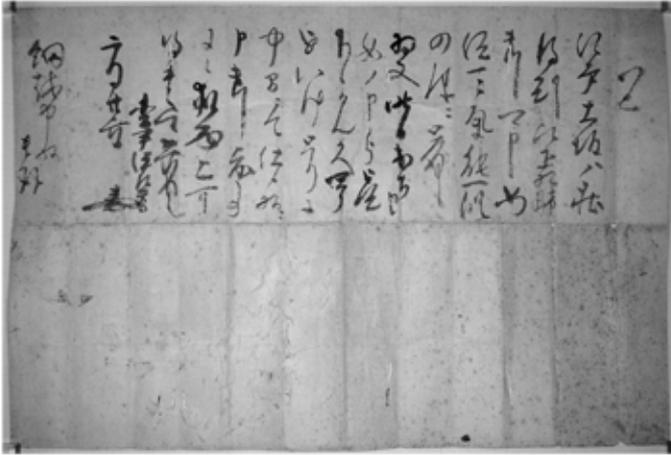
新史料による

「天草・島原の乱」

- その時、徳川幕府軍はどう考えたか -

今からおよそ370年前の寛永14年（1637）、天草・島原地方で起こった一揆は、拡大を見せ、最終局面の原城籠城に至った。

この一揆に関して、今まで豊富に残る史料により多くのことが語られている。しかし、幕府軍が、いつどの段階で指示を出していたかは今ひとつ明確ではなかった。今まで不明瞭であった幕府軍の動きを未公開史料で明らかにする。



天草四郎生けどりの指示をした幕府軍総司令官松平信綱の書状
九州文化財研究所蔵



原城出土の箱型十字架
南島原市教育委員会蔵



マリア観音
天草切支丹館蔵



「嶋原御陣図」
伝習館高等学校同窓会蔵

細川軍の中にあつて、藩主忠利の側に付き添っていたひとりの軍師がいた。

その名は、雲林院弥四郎。当代随一といわれ、柳生宗矩や細川忠興を絶賛させた武芸者を、初公開する。



細川家より参戦した軍師雲林院弥四郎についての柳生宗矩書状
個人蔵

- 場 所／城南町歴史民俗資料館
下益城郡城南町大字塚原1924
- 観 覧 料／大人・高校生 210円(160円) 小・中学生 110円(70円)
※()内は20人以上の団体料金
- 開館時間／午前9時～午後4時30分
- 休 館 日／月曜日・祝日の翌日
- 交通案内／JR宇土駅から車で30分、御船インターから車で15分
熊本交通センターから熊本バス鰯瀬・上郷方面行き
塚原下バス停下車徒歩3分、高速城南バス停下車徒歩3分
- 駐 車 場／普通車50台、大型バス3台

問い合わせ／城南町歴史民俗資料館
〒861-4226 下益城郡城南町大字塚原1924
TEL: 0964-28-5962 FAX: 0964-28-0154

九州文化財研究所
〒862-0954 熊本市神水1丁目32番19号
TEL: 096-381-2267 FAX: 096-381-2299
URL: <http://kyubunken.sakura.ne.jp>

